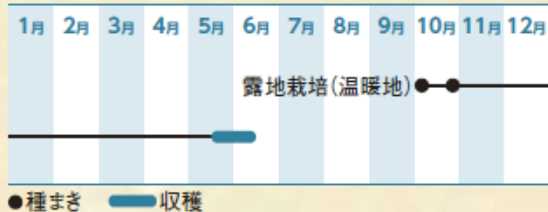




品種例
・白花納豆
・スナック など

栽培カレンダー



エンドウ

栽培のポイント

① 連作に気を付ける

連作障害が出やすい野菜です。一度栽培した畑では、少なくとも4～5年は栽培しないよう注意しましょう。また、酸性に弱いので、酸性畑では必ず石灰を施し、よく耕してから栽培を始めましょう。

② まき時を守りましょう

種まきの適期は10月中旬～11月上旬です。早まきすると、冬期までに大きく育ちすぎ、耐寒性が低下する原因となるため、まき時を守るようにしましょう。

③ 水の管理と病害対策をしっかり

開花期以降に土壤の乾燥が続くと、着花が悪くなり収量減少の原因となります。土が乾燥したときは、株元にたっぷり水をやりましょう。また、収穫を開始する頃にうどんこ病が発生しやすいため、事前に農薬などで防除し、長期間の収穫を楽しみましょう。

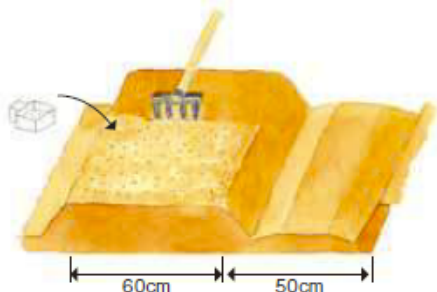
1 畑の準備

種まきの少なくとも半月前
くらいに畑の準備を行う

(1㎡当たり)
石灰:大さじ2～3杯
堆肥:5～6握り



(畝の長さ1m当たり)
化成肥料:大さじ3杯



2 種まき

1か所に4～5粒
種子をまく

覆土は厚すぎないように
1.5～2cm



3 支柱立て(1)

直立状態では、風に振り回されてしまい
折れやすいので、竹で押さえておく



4 追肥

第1回
春先に勢いよく根が伸びだしたころ、マルチフィルムをめくって畝の片側に肥料をまき、土と混ぜ合わせながら畝を形づくる
(1株当たり)
化成肥料:大さじ1杯

第2回
盛んに開花するようになったころ、畝の反対側に前回と同じく追肥する



5 支柱立て(2)

支柱は小枝のあるささ竹 生育盛期の姿
やばた木が望ましいが、市販の果菜用支柱竹(2m以内のもの)でもよい

枝が少なければ、
わらを用いてそれに
蔓を絡ませる

支柱竹の場合は、
横に2～3段
ポリテープを張る



6 収穫

爪でつまみ取るか、はさみを使って切り取る

キヌサヤ
子実のふくらみが
見られるようになった
若さやのうちに

スナック
子実が太ってきたころ、
さやがみずみずしい
うちに

